

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組～ D組

使用教科書：（高等学校 新地理総合（帝国書院））

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養わせる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して汎用される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図は、全ての要素を同時に正しく表現することができないことに気づかせる。 それぞれの図法が正しく表現できる要素に着目させる。 緯度の違いは日照時間の違いと関係していることに着目させる。 経度と時差の関係性について気づかせる。 緯度と経度の違いと人々の生活との関係について考察させる。 目的や用途によって、位置や範囲、縮尺、描かれる地図情報が異なることに着目させる。 地理情報システムについて、その基本的な内容や活用事例を知るとともに、作業的・体験的な学習活動を通してその有用性に気づかせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究しようとしている。 	○	○	○	6
<p>第2編 国際理解と国際協力</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人々が山地や平野、海岸に広がる様々な地形をどのようにに活用しているかといった点に着目させる。 山地や平野、海岸地形の利用について、多面的・多角的に考察させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。 	○	○	○	6
1学期中間考査		考査・ワークシート	○	○		1
<p>第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の国家の結び付きは、資本主義、社会主義といった国家体制が関係していることに気づかせる。 グローバル化の進展と国家間の結び付きの変化について、地図から多面的・多角的にとらえさせる。 労働者の移動や情報化の進展を図版資料から読み取らせ、グローバル化について多面的・多角的にとらえさせる。 時間距離がどのように短縮されていたか、その過程に着目させる。 時間距離とともに、輸送技術の発達が果たした役割について考えさせる。 観光が多様化してきた背景について、多面的・多角的に考えさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究しようとしている。 	○	○	○	7
<p>第2編 国際理解と国際協力</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策 	<ul style="list-style-type: none"> 緯度や地形的な要因等による世界の気候の違いに気づかせる。 それぞれの気候下で暮らす人々の生活に着目し、工夫や課題等について、多面的・多角的に考察させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。 	○	○	○	9
1学期期末考査		考査・ワークシート	○	○		1

2 学 期	第2編 国際理解と国際協力 【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習する態度】 ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考	・人口爆発が日本や世界に及ぼす影響について考えさせる。 ・少子高齢化が先進諸国の社会や生活に及ぼす影響について考えさせる。 ・発展途上国と先進国の食料問題の違いに気づかせ、多面的・多角的に考察させる。 ・食料問題解決に必要な国際協力について考えさせ、様々な国際機関の存在に気づかせる。 ・発展途上国と先進国の都市問題の違いに気づかせる。	【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習する態度】 ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとして	○	○	○	10
	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 【知識・技能】 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習する態度】 ・自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し、平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み、対応のあり方に	・日本で発生する自然災害について、自然環境と関連させて考えさせる。 ・地震と津波の関係性について気づかせる。 ・地震に関連して発生する被害について理解させる。 ・日本では津波や地震に対してどのような対策が行われているか理解させる。 ・火山活動により様々な被害を引き起こされることに気づかせる。 ・火山活動による社会生活への恩恵について考えさせる。	【知識・技能】 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習する態度】 ・自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し、平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み、対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。	○	○	○	10
	2学期中間考査		考査・ワークシート	○	○		1
	第2編 国際理解と国際協力 【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習する態度】 ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想させる。	・エネルギー資源の有限性に気づき、新たなエネルギー資源の開発について考えさせる。 ・石油以外のエネルギー資源の存在に着目させる。 ・自然から得られるエネルギーにはどのようなものがあるか考えさせる。 ・地球規模での気温上昇が1970年代以降顕著であることに気づかせる。 ・地球温暖化に対する国際的な取り組みに着目させる。 ・様々な種類の地球環境問題が世界各地で起こっていることに気づかせる。 ・球的課題の解決には、国際的な取り組みが不可欠であることに気づかせる。	【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習する態度】 ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとして	○	○	○	9
	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 【知識・技能】 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習する態度】 ・自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し、平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み、対応のあり方について積極的に考察・構想しようとして	・都市部や農村部の違いなど、地域によって風水害の被害が異なることに気づかせる。 ・日本では風水害に対して伝統的に様々な対策が行われてきたことに気づかせる。 ・社会環境の変化による新たな風水害の危険性について考えさせる。 ・社会生活と雪害との関係について考えさせる。 ・日本では、近年真夏日が増加し、高温対策が必要なことに気づかせる。 ・被害軽減のために現在行われている取り組みに着目させる。 ・被害軽減のために、自助・共助・公助の視点が重要であることに気づかせる。	【知識・技能】 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習する態度】 ・自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し、平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み、対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査		考査・ワークシート	○	○		1
							合計
							70